

令和 3 年度埼玉県障害者施策推進協議会
第 3 回ワーキングチーム（B チーム）会議メモ

令和 4 年 1 月 1 3 日（木）10:00-11:45

埼玉会館 3 A 会議室

参加者：曾根委員（リーダー）、関口委員、宮野委員、民谷委員、高野委員

他チーム参加者：長岡委員

欠 席：平野委員

傍聴者：なし

1 ワーキングチームの検討課題について

曾根委員）

本日は、今年度の B チームとして、今後に向けての課題の整理をしたい。

前回までに挙げられていた主な課題

- ・ グループホームの土日対応時の報酬について
- ・ グループホームの量が少ないこと（国の社会保障審議会の資料より）
 - ① 日中活動の支援だけを行っている法人・団体にもグループホームの設置を促していくためにどうするか。
 - ② 富裕層向け（ビジネス系）のグループホームが増えているが、実際には酷い対応・重度の人は受け入れない・上手くいかないと撤退するなどの問題が生じている。これにどう対応するのか。
- ・ 地域移行については、相談支援専門員が意向の聞き取りをしっかりとするなどの体制整備をすること
- ・ 建設費補助について
- ・ 社会参加の支援（特に手話通訳に関して）→手話懇話会の検討課題となっているため、手話懇話会で検討してもらう。
- ・ 難病患者への就労支援について

本日は、宮野委員に前回話に出てきたキャラバンアンケートの結果を持ってきていただいた。難病患者の中で手帳を取得している方は身体障害者として計上されているため、難病患者として数字に反映されないのではないかとと思う。

また、障害者雇用促進法の対象になっていない難病患者の中には、職場に提

示したくない方もいるのではないか。実態を把握するためには、そのあたりの難しさが生じる。

宮野委員)

手帳を所持していない難病患者でも、採用の際に難病の情報を開示し、企業がそれを認めた場合は、助成金をもらえる制度がある。

○助成金について

特定求職者雇用開発助成金「発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース」があり、対象となる人を企業が雇用すると、企業が助成金をもらえる。

働く側のメリットは、自分を雇えば企業に助成金が入るという制度の対象であり、就職しやすくなること。

曽根委員)

はっきりと症状がわかる人は難病であることを開示すると思うが、そうでない人の場合は、自分の能力で就職したいという意見もあるのではないか。

宮野委員)

たしかに、難病の名前を開示すると、企業が一気に引いてしまう場合もある。

前回話したが、埼玉県障害者雇用サポートセンターの呼びかけで2か月に1回、様々な機関が集まる機会が出来た。2月に3回目を行う予定である。

曽根委員)

その会議で挙げられた課題等を本会議や来年度のBチームに共有、提案してもらい、計画に載せられるものに繋がった方が良いのではないか。

宮野委員)

今の段階では、障害者支援計画に反映させていくものという意識はなく、お互いに情報共有をしている段階であるが……。そこで検討できるようにしたいと思う。

関口委員)

難病患者は障害福祉サービスの就労移行支援をどのくらいの方が利用しているのか。

宮野委員)

今、数字を提示することはできない。そんなに多くはないと思う。

関口委員)

それは、サービスの情報が行き届いていないのか？または、マッチングがうまくいっていないのか？

宮野委員)

情報が行き届いていない面もあると思う。

関口委員)

就労移行支援のサービスが利用できる環境の整備をしていくことも必要と思った。

宮野委員)

たしかに、就労移行支援事業所によって、難病の人も利用できると明記しているところもあれば、明記していないところもある。

そもそも障害者総合支援法について、難病患者も当てはまるということを知っている人は全体の半分くらいだと思う。

曽根委員)

それは団体で周知活動をしなければならないところである。

宮野委員)

団体での周知活動はもちろん、病院や保健所で受給者証の発行時等に障害福祉サービスを利用できることを伝えるなどしてほしいと考える。

関口委員)

相談支援専門員が難病患者の相談を受けながら、障害福祉サービスに結びつけるなどのリソースはあるのか？このようなリソースを増やしていかなければならないと考える。

曽根委員)

相談支援専門員と会うためには、障害福祉サービスの支給決定を受けないといけない。難病患者は必ず医療機関と関わりがあるため、医療機関で周知してもらうことが一番確実だと思う。

宮野委員)

難病患者は、ある一定の重症度でないと、医療費を助成してもらうための指定難病受給者証をもらえない。しかし、障害福祉サービスについては、受給者証あるなし関係なく、病名を明示できれば受けられる。その後区分認定がある。就労支援サービスについては、区分認定も関係ないため、就労移行支援事業所に行くことができるが、それを知らない人が多いと思う。

関口委員)

企業で働く際、就労移行支援の職員が企業に情報共有（難病患者ができることや注意点など）できれば、さらに円滑な就労支援に繋がるのではと思う。

宮野委員)

そのとおりだと思う。事業所によって、企業との繋がりも様々である。相談をしながら、その繋がりを就職活動に利用できるのではと思う。

関口委員)

難病患者がサービスを利用して生活することに繋がる普及が必要であり、私たちも難病患者がサービスを利用する際にスムーズに受け入れられる体制を整えていくことが必要。

曽根委員)

就労移行支援は、多くは知的・精神の方が利用している。そこに難病の方がうまく馴染めるのかが複雑なところである。

宮野委員)

挨拶の仕方の練習から始まることもあるため、ニーズとマッチしない点がある。

関口委員)

企業側もどのように難病患者の方を雇えば良いかわからないといった状況やハードルの高さがあるため、そのような問題に対処できればと思う。

宮野委員)

そのような問題のためにも、先ほど伝えたように、障害者雇用サポートセンターが関係機関に声をかけて、横の繋がりを作ろうとしているところである。

曾根委員)

難病の就労関係については、宮野委員が参加されている会議で課題を計画に盛り込めるように進めていただくようお願いする。

それ以外のところで、来年度に向けて引き継ぐべき課題を一人ずつお願いしたい。

高野委員)

グループホームについて

営利を目的とした有限会社や株式会社の施設がたくさん出来ている。このような施設は、年金額にお構いなしの金額設定や問題を起こすと退去・・・といった対応であることが多い。

年金では足りない分は家族が補填しなければならないため、家族の負担が減らない。障害者の福祉は家族ありきの考えから脱却していかなければならないと思う。

日中の報酬については、国の制度設計の問題であるため、ここで議論しても仕方がないと思う。

今回は、この場は議論するための議論の場なのか、効力を持って課題を解決できる方向に向かうための議論なのかを考えたうえで問題提起をするべきだと思う。ただ障害者支援計画を作るだけではなく、作ったうえで結果を見せていただきたいと思います。

曾根委員)

解決できる方向に向かうための議論だと認識している。ここは課題を挙げる場であり、それを実現するのが行政の役割である。

高野委員)

市の障害者支援計画では、実績評価を出している。そのようにするとわかりやすいと思う。

事務局)

県の障害者支援計画でも、第1回障害者施策推進協議会でモニタリングという形で評価を示させていただいている。そこで評価についての質問を受け付けている。また、数値目標を立てて、具体的にいくつ達成したか数字で示している。それとはまた別の話か？

高野委員)

数値の問題ではなく、グループホームの報酬の問題などがなかなか見えていない。グループホームが3から7になったとしても、グループホームの質は変わっていない。有限会社で作る施設は営利目的だが、障害福祉関係者が作る施設は障害者の幸せな生活を目指している。このような部分は数値には反映しない。このあたりが悩ましいところだと感じている。

曾根委員)

高野委員が心配されている質の評価については、個別に評価しないとわからないところである。県が全圏域を評価することは難しいと思う。まずは法人が第三者評価として評価し、自分たちで評価を高める。法令に違反していないかぎり、行政は権限を持って指導することはできないか？

障害者支援課)

法律にある指定基準・運営基準に沿っているかぎり、行政として何かすることはできない。しかし、政策目標としては、日中支援・営利目的の施設・コロナ対策の問題について解決していかなければならない。また、重度障害の方の地域移行についても進めていきたいと考えている。

グループホームの質の向上については、人材を養成していかなければならないと思う。そのため、研修事業を考えている。社会福祉法人が運営するグループホームは比較的質が高いが、営利目的のグループホームの質を上げていくためには人材育成していくことが必要と考える。

高野委員)

施設の質の底上げは、運営している法人が考えなければならない。育成会が立ち上げている施設は、重度障害の方向けである。社会福祉法人だけでなくNPO法人も、施設を立ち上げているところがある。そのような法人は、経済的にさらに弱い。重度障害の方に対しては、その分多く人員を配置しなければならないため、人件費もかさむ。障害のある人も日中どのように過ごすか選ぶことができるように、日中報酬の支援をしていただきたいと思うが、なかなか上に届くような話でもなく、非常に難しいところだと感じている。

曾根委員)

グループホームの不足、グループホームの質、年金だけでは足りない収入の問題、地域移行、土日の日中報酬についてが、高野委員の挙げる課題ということで承る。

長岡委員はいかがか。

長岡委員)

施設評価の部分についてだが、安心グループホームの認証をしていくという話がある。

障害者支援課)

安心安全のグループホームについて、施策を練っているところである。県が定めた基準をクリアした施設を県で認定し、広く周知することでグループホームの入居を進めていく。入所待機が多いため、最初から入所希望ではなく、県の認定したグループホームであれば安心安全であることを理解いただき、グループホームも視野にいられていただく狙いがある。早く進めていきたいと考えている。

長岡委員)

安心安全のグループホームの評価基準は作っていかないといけないと考えている。評価基準を示すことができるのは大きいと思う。

曽根委員)

評価基準はマストだと思う。

障害者支援課)

評価基準はマストであり、何を評価基準にするかということである。障害者施設はそれぞれの障害特性を考慮しながら、どのような方を受け入れているかを含めて考えなければならないため、一律の数値を達成していれば安心安全とは言いきれないところがある。そのような点を含め、発障協の御意見をいただきながら進めている。

長岡委員)

・評価をすること・人材育成をすることについて

地域の自立支援協議会レベルで何か仕組みを作ることができないかと思っている。実際にグループホームの設置時や定期的なモニタリングは地域の自立支援協議会が関わっている。営利目的の施設は地域との繋がりが後付けになるパターンが多い。地域との繋がりが評価に繋がると思うため、「地域で取り組める形」を目指したほうがよい。

・地域生活支援拠点について

地域移行の体験の仕組み、人材育成などの質に関わる。人材育成についても、県と地域で出来ることが分かれていると思うため、来年度に考えていただきたい。

曾根委員)

地域ごとの仕組みづくりはとても重要である。

今入所している方がどのような意向を持っているかを障害者相談支援専門員が把握し、それを進めていくのが協議会かと思う。

具体的な仕組みの提案について、来年度に考えていければと思う。

民谷委員はいかがか。

民谷委員)

・就労支援を積極的に行うこと

ジョブコーチを増やす・育成していくことが大事だと思う。就労した会社の中に理解者がどれだけいるかが、長く働き続けることに繋がる。受け入れる側が変わって、理解できるようにしないといけないと思う。

○ もにす認定について

障害者を積極的に雇用している施設がある。短時間、週数回の働き方もこのような組織であればできるのではと思う。

・施設職員などの質の問題の改善

改善点を最も知っているのは利用者である。利用者がどこを改善してほしいのか伝えられるような体制があれば、改善の余地があると思う。内部告発のようなものは積極的にしていくべきだと思う。また、公の力を上手に利用していくべき。

曾根委員)

障害者の就労について、受け入れる側が変わらないといけない点はそのとおりだと思う。

厚労省が認定している「もにす認定」については、障害者支援計画にも入れやすいのではないか。難しいか？

事務局)

産業労働部の部分かと思う。入れるにしても、どのくらいの数値目標を設定

することが可能なのかなど、産業労働部に聞いてみないとわからない。

曾根委員)

内部告発制度もあると良いと思う。利用者の声を聞くということが大事だと思う。来年度に向けて引き継いでいきたい。

長岡委員)

法的にアウトなところは動きやすいと思うが、その手前の質的な部分はなかなか動きにくいのではと思う。

曾根委員)

ジョブコーチを増やすことについて

計画に盛り込みやすいと思うが、予算の問題もあるため、これも産業労働部マターである。

関口委員)

・グループホームについて

職員の数が少ないと日中ネグレクトになる可能性がある。そうならないために、日中活動をどうするのかを含めた指定申請が必要だと考える。

・地域生活拠点について

緊急時、グループホーム以外のところでケアをした場合でも、地域生活拠点の支援の1つとしてもらいたい。

・グループホームが自然淘汰されないことについて

様々なグループホームが出来ており、質の悪いグループホームは自然淘汰されていくものだが、利用者は次から次へと入り、なくなる現状がある。質の良いグループホームがまだまだ少ないのではと思う。全体の質の把握のために評価基準が必要だと思う。

曾根委員)

日中ネグレクトについては難しい問題。これは虐待認定にも関わると思う。

指定を受けるときに日中活動とセットでないと指定申請を受け付けない、というところまでは縛れないと思うがどうか。確認をするということか？

関口委員)

申請の際に、法人として日中活動に対する考えを確認しておくべきだと思う。

曾根委員)

その点、担当課はどのような考えか？

障害者支援課)

そこまでの人手が足りない。また、県としては、事業所を増やしていかなければならないため、日中活動をどうするかという点までなかなか聞き取ることには・・・という印象。例えば、重度障害の方を受け入れている施設に対して、災害時に避難させなければならないような状況の場合の対応をケースバイケースで聞き取りすることはある。現状としては、グループホームの指定申請について、日中どう過ごすのかを聞いていない。

関口委員)

記載事項として、法人としての日中活動の考えを記載してもらい、監査の際に確認する、などはどうか。

曾根委員)

市町村に、支給決定の際、サービス等利用計画案を用いて確認してもらう方が現実的だと思う。そうすることで、障害者虐待防止法とも紐づけていけるのではないか。

関口委員)

市町村がそこまで見るのだろうか・・・という印象がある。

曾根委員)

このことについては、来年度の検討課題として引き継ぎたいと思う。

・地域生活支援拠点について

障害者総合支援法では暫定支給決定はないため、そもそも仕組みがないということである。緊急事態が起きたときの課題としては、報酬と場所の確保である。これも来年度に引き継ぐ。

・自然淘汰されないことについて

福祉サービスに自然淘汰を当てはめるべきなのか？と考えるようになった。すべての施設にしっかりと運営してもらうことが大事なのではと思う。

関口委員)

サービスの量が足りないため、質の悪い施設も生き残っているのだと思う。

曽根委員)

サービスの量が足りれば、質の悪い施設はなくなるのか？

宮野委員)

質問だが、質の悪い施設では、入居者が耐えているということなのか？その後、空きが出来たときは、何も知らない方が入居してしまうというループなのか？

関口委員)

そうである。回転率はとても速い。貧困サービスに似たものだと思う。

曽根委員)

悪い施設を淘汰すれば、全体の質が上がるのか？ということである。

民谷委員)

何が悪いのかが抽象的である。だからこそ、利用者に悪い部分を表に出してもらい、行政指導によって改善させる。悪い施設がダメなのではなく、悪い施設を置いておくことがダメである。

高野委員)

知的の意思疎通ができない人は、何も言うことができない。また、「悪い」とは、利用者目線 or 親目線か？で変わらと思う。

親がサポートをすることが限界な状況である場合、どんなに質の悪い施設でもその施設に入れざるをえない。そのため、質の悪い施設が淘汰されることはない。

曽根委員)

この自然淘汰については重い課題であるため、来年度に引き継いでいくべき。

夜遅くまで見る・土日もある対応をするとところは生き残っていく。だからこそ、質とは何か？ということになる。

高野委員)

内部告発についても、虐待防止法が出来たときに多く出た。しかし、施設側

が名誉棄損で職員を訴えるということも生じていた。どうしたらいいのか？と思う。

曾根委員)

これについては、来年度に持ち越したいと思う。

長岡委員)

減点方式が良くないと思う。

夜遅くまで・土日に対応する・通院に同行するなどには加点方式が良いと思う。その部分を安心安全グループホームの要素として焦点を当てられたら良いのではと思う。

曾根委員)

来年度に引き継ぐ課題ということで、まとめる。

- ・グループホームについて
- ・生活費の問題（年金だけじゃ足りない）
- ・地域移行について
- ・地域の自立支援協議会の中で仕組みをつくる
- ・難病の就労について、宮野委員が参加している会議で課題を整理してもらう
- ・手話通訳については、手話懇話会で議論されている課題を共有してもらう
- ・就労について、企業の受入力を高めるための方策
- ・グループホームの日中活動について
- ・緊急時の対応方策
- ・質の問題（質を高める側面と質の低いところに退場してもらうという側面について）
- ・質を高めるための内部告発の仕組み

2 e スポーツの今後の取組の方向性について

障害者福祉推進課 障害者スポーツ担当)

～資料1の説明～

曾根委員)

これについて意見をもらえればと思う。

関口委員)

懸念しかない。

e スポーツのリテラシーをどのように高めていくかが大事だと思う。そして、学校教育の場面や障害者を支援する人がどのように理解し、e スポーツを進めていくかが大事。

大会だけが進み、ゲームを取り組む時間、課金などのプログラムがない。リテラシーが乏しい中で推進していくことはリスクがあると思う。

曽根委員)

e スポーツと聞くと、新しいものだと感じてしまうが、ゲームは既に広まっているもの。ゲームが抱えている課題がe スポーツにもあるという認識である。

関口委員)

それを県が推進するのはどうなのだろうと思う。ベースが出来ていない中で推進することが・・・。まずはリテラシーを固めていけば良いと思う。

曽根委員)

例えば、「障害のある方もない方も共に参加し楽しむことができるe スポーツ情報のリテラシーを高め、発信し、e スポーツの普及を図ります。」などはどうか？

関口委員)

それならまだよいと思う。

高野委員)

特別支援学校で、課金管理の問題が挙がっている。ゲームはできても、課金の理屈がわかっていないため、ものすごい請求額になっているということがあ。課金について学校で教えてほしいとお願いしても、学校ではそこまでしないといった対応がある。

曽根委員)

課金は親が制限できる機能もあるのではないか。

具体的な文言修正をするのであれば、「リテラシーを高める」という文言を入れたら良いか？

高野委員)

リスクを少なくするということを明言しないと危ないと思う。リテラシーの中に入るか？

民谷委員)

仕事だけしっかりやればゲームは気分転換として良いのではという考えのため、特に反対意見はない。

宮野委員)

「障害の有無に関わらずみんなができる」とあるが、知的障害が重度の方もできるのか？

高野委員)

知的の重度の方は、勝ち負けの概念があまりないので、あまりゲームをする人はいない。

曽根委員)

「障害のある方もない方も共に参加し楽しむことができる」という表現である。知的障害の程度の話になると、ゲームに限らず、テレビ・読書などにも当てはまる。

関口委員)

ゲーム依存の相談やケアをするような窓口はあるのか？

障害者福祉推進課 障害者スポーツ担当)

保健医療部で、令和4年度から施行する「埼玉県依存症対策推進計画」を作成しているところである。計画の中で、ゲーム依存・障害について取り上げられることになっている。

関口委員)

ゲーム依存に対応できる専門家もいないと思う。そのあたりも考えていかなければならない。

曽根委員)

それは障害者に限らないと思う。そこを対策しないと計画には・・・ということか？

関口委員)

障害者に限らない話である。計画に入れても良いが、平行してケアについても進めていかなければならないと思う。

長岡委員)

社会参加といった面では、ゲームを通して社会参加ができるのではと思う。

リスクもあると思うが、ゲームを通じて世界が広がることについて盛り込めば良いのではと思う。

曽根委員)

それでは、このワーキングの意見としては、「リテラシーを高める」という文言を追記するという形で承認ということにする。

では次に工賃について事務局から説明願う。

3 「工賃」という名称について

障害者支援課)

～資料2の説明～

曽根委員)

これはどういう意見があるのか伺いたいということのため、それぞれ意見を頂戴したい。

言い換えた場合の影響、当事者や事業所の思いの2点について

関口委員)

私は賃金という言葉で良いと思う。

民谷委員)

税法上の課税の関係が絡んでしまうため、工賃になっているのだと思う。ただ単に言葉だけを変えるというのは……。税法や雇用関係などの背景を考えると、国は「工賃」という言葉にしているのだと思う。就労B型の職員や利用者の意見としては、「工賃という言葉についてどう思うか？」と聞いたところ、「工賃と言われているが自分は『給料』だと思っているから、そんなにこだわらなくても良いのではないかなと思う。」とのことだった。

長岡委員)

事業所ではお給料という言い方が多い。出している側としては、最低賃金に満たない金額のため、それをお給料と胸張って言えないという点はある。

税法上の絡みもあるため、行政用語としての他の言い換えは思いつかない。

宮野委員)

よくわからないが、私の団体では「謝金」と呼んでいる。

言い換えの影響等についてもよくわからない。工賃は正式な名称のため・・・。

高野委員)

工賃と呼んでいるが、子供たちにとってはお給料で通っている。それにそぐわない場合は報酬などにすれば良いのではないか。

曽根委員)

宮野委員と高野委員は、行政用語としては言い換える必要はないということか？

宮野委員、高野委員)

そうである。

曽根委員)

私の意見としては「賃金」として、就労B型も最低賃金をクリアするべきと思う。

意見は以上とする。

4 その他

事務局)

2月18日10時から、第3回埼玉県障害者施策推進協議会を県民健康センター大会議室Cで開催する。それでは本日のワーキングを終わりにする。